

No. FDCS-3003F

殿

仕様書

6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁

耐燃性ポリエチレンシース電力ケーブル

(EM 6600V CET/F)

エコケーブル

件名 :

株式会社 **フジクラ・ダイヤケーブル**

適用範囲	6600Vの電力用の回路に使用するトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁、耐燃性ポリエチレンシース電力ケーブルについて規定する。 このケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されており、かつシースにアウトガスの発生を抑制した材料を使用している。
適用規格	J I S C 3 6 0 6 「高圧架橋ポリエチレンケーブル」 (最新版)

構 造	
導 体	円形より線又は円形圧縮より線。 ・ 導体は J I S C 3 1 0 2 「電気用軟銅線」による。
内部半導電層	押出半導電層 注) 導体上に半導電性テープを施すことがある。 また内部半導電層の厚さは絶縁体の厚さに含まれる。
絶縁体	架橋ポリエチレン
外部半導電層	半導電性テープ
遮へい	軟銅テープを巻き、その上に押えテープを施す。
線心識別	テープの色分けによる。 3心 : 白, 赤, 青
シース (エコマテリアル)	耐燃性ポリエチレン (黒色)
より合わせ	線心3条を右より (Sより) に撚り合わせる。
表 示	適当な方法により、以下の事項を連続表示する。 ブランド名 「FUJIKURA・DIA」 品名記号およびエコケーブルである旨の表示 「EM 6600V CE/F」 耐燃性である旨の表示 「TAI NEN」 製造年

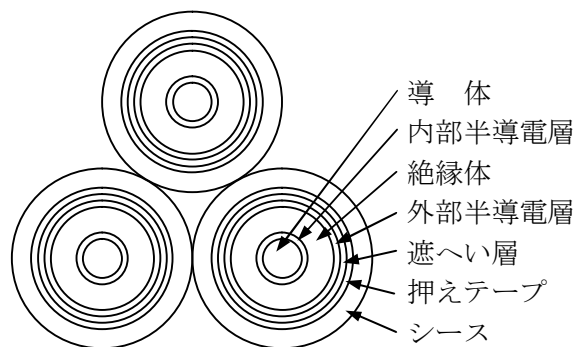
特 性					
項 目			特 性		試験方法適用箇条
導 体 抵 抗			付表の値以下とする。		JISC 3005 の44
耐 電 圧			付表の試験電圧に10分間耐えること。		JISC 3005 の46
絶 縁 抵 抗			付表の値以上とする。		JISC 3005 の4.7.1
絶 縁 体 及 び シースの 引 張 り	絶縁体	架 橋	引張強さ	10MPa 以上とする。	JISC 3005 の4.16
		ポリエチレン	伸 び	200%以上とする。	
	シース	耐 燃 性	引張強さ	10MPa 以上とする。	
		ポリエチレン	伸 び	350%以上とする。	
加 熱	絶縁体	架 橋	引張強さ	加熱前の値の80%以上とする。	JISC 3005 の4.17
		ポリエチレン	伸 び	加熱前の値の80%以上とする。	
	シース	耐 燃 性	引張強さ	加熱前の値の80%以上とする。	
		ポリエチレン	伸 び	加熱前の値の65%以上とする。	
耐 寒	シース		試験片が破壊しないこと。		JISC 3005 の4.22
加 熱 変 形	絶縁体	架橋ポリエチレン	厚さの減少率40%以下とする。		JISC 3005 の4.23
	シース	耐燃性ポリエチレン	厚さの減少率10%以下とする。		
難 燃	ケ ー ブ ル		60秒以内で自然に消えること。		JISC 3005 の4.26
発 煙 濃 度	絶縁体及びシース		6回の試験の結果、平均値が150以下であること。ただし、始めの3回の値がいずれも150以下である場合は、3回で合格とする。		JISC 60695-6-31 (旧 JISC 0081)
燃 焼 時 発 生 ガスの酸性度	絶縁体及びシース		pH4.3 以上		JISC 3666-2 の9.2
燃 焼 時 発 生 ガスの導電率	絶縁体及びシース		10 μ S/mm 以下		JISC 3666-2 の9.2

検 査	<ul style="list-style-type: none"> ・外 観 ・構 造 ・導体抵抗 ・耐 電 圧 ・絶縁抵抗 ・そ の 他……………省略又は既往の試験結果により代替できるものとする。 <p>試験は J I S C 3 0 0 5 「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」, J I S C 6 0 6 9 5 - 6 - 3 1 (旧 J I S C 0 0 8 1) 「環境試験方法－電気・電子－耐火性試験－煙による光の不透過度の測定－小規模静的試験方法－材料」及び J I S C 3 6 6 6 - 2 「電気ケーブルの燃焼時発生ガス測定試験方法－第 2 部：電気ケーブル材料の燃焼時における pH 及び導電率による発生ガスの酸性度測定」により行う。</p>
-----	--

* その他

- 1) シース材料（エコマテリアル）には、難燃性を付与するために、特殊な難燃剤が添加されています。このため、こすれ等によりシース表面に白い跡が残ることがありますがケーブル性能には問題ありません。
- 2) 端末部でシースが収縮することがありますので、端末処理をするときには対策を施してください。

EM 6600V CET/F



導 体			絶 縁 体 厚 寸 法	絶 縁 体 外 径	シ ー ス 厚 寸 法	線 心 外 径	仕 上 外 径	概 算 質 量	試 験 電 圧	最 大 導 体 抵 抗 (20℃)	最 小 絶 縁 抵 抗	静 電 容 量 (参 考)		
断 面 積	構 成	外 径												
mm ²	本/mm	mm	mm	mm	mm	約mm	約mm	kg/km	k V	/km	M -km	μ F/km		
8	7/1.2 円形圧縮	3.6	4.0	11.6	1.8	16.5	36	1,090	17	2.36	2,500	0.21		
		3.4		11.4										
14	円形圧縮	4.4		12.4	1.9	17.5	38	1,380		1.34			0.24	
		5.5		13.5										
22		7.3		15.3	2.0	19	42	1,550		0.849			0.27	
38		9.3		17.3	2.1	21	46	2,140		0.491			2,000	0.32
60		12.0		20.0	2.2	23	50	2,910		0.311			0.37	
100		14.7		22.7	2.4	26	57	4,260		0.187			1,500	0.45
150		17.0		26.0	2.6	30	65	5,880		0.124			0.52	
200		19.0		4.5	28.0	2.8	33	72		7,740			0.0933	0.51
250		21.7			30.7	3.0	35	76		9,190			0.0754	0.55
325		24.1			33.1	3.1	39	85		11,500			0.0579	0.61
400		26.9			35.9	3.3	41	89		13,900			0.0471	1,000
500		29.5		5.0	39.5	3.5	45	98		16,800			0.0376	900
600					3.7	49	106	20,000	0.0314	0.71				

遮へい : 銅テープの厚さは約 0.1 mmとする。
 絶縁体 : (平均厚) 表の厚さの 90%以上, (最小厚) 表の厚さの 80%以上。
 外径公差は±0.7 mmとする。
 シース : (平均厚) 表の厚さの 90%以上, (最小厚) 表の厚さの 85%以上。